鋳協発 2025 第 128 号
2025 年 11 月 4 日

会 員 各 位

一般社団法人　日本鋳造協会
会　長　藤 原　慎 二
（ 公 印 省 略 ）

創立 20 周年記念式典・祝賀会及び IMONO MIRAI フォーラム開催のご案内

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会の事業に格別のご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は 2025 年 7 月 1 日に創立 20 周年を迎えました。これも偏に会員各位並びに関係各位の温かいご支援とご高配の賜と深く感謝申し上げる次第です。

つきましては、この慶事を祝い下記のとおり創立 20 周年記念式典・祝賀会を例年の新年賀詞交換会と兼ねて開催いたします。また、創立 20 周年記念行事の一環として IMONO MIRAI フォーラムを併せて開催いたします。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、多くの会員企業の皆様には是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1．20 周年記念スローガン：持続可能な未来を我らの手で！～鋳造の伝統と革新で開く循環型社会
2．日　　時：　2026 年 1 月 29 日（木）
　13：30～16：45　IMONO MIRAI フォーラム
　　テーマ『我々が目指すべき未来のありかた～成長戦略』
　17：00～17：30　創立 20 周年記念式典
　17：45～19：15　祝賀会（兼 新年賀詞交換会）
3．場　　所：　東京プリンスホテル　（別紙参照）
　2 階 鳳凰の間 西（IMONO MIRAI フォーラム・記念式典）
　2 階 鳳凰の間 東（祝賀会）
4．参 加 費：　20,000 円（IMONO MIRAI フォーラム・記念式典・祝賀会）
　（10%対象消費税込・登録番号 T4-0104-0500-0854）
5．申込方法：　添付参加申込書（エクセル）により soumu@foundry.jp　宛にメールにてお申込みください。
6．申込期日：　1 月 15 日（木）
7．お振込先：　みずほ銀行 神谷町支店 普通預金　№1000022　一般社団法人日本鋳造協会
　1 月 20 日（火）までにお振込をお願いいたします。
　（請求書をご希望の場合は参加申込書にご記載願います）
8．そ の 他：　参加証は発行いたしません。準備の都合上、期日までにお振込をお願いします。
　お申込後のキャンセルは出来かねますので、代理の方のご出席をお願いします。
9．お問合せ先：　日本鋳造協会　総務グループ　山田・鈴木（愛）　TEL：03-3432-2991

以 上

＜東京プリンスホテル案内図＞

東京都港区芝公園 3-3-1
TEL：03-3432-1111
URL：https://www.princehotels.co.jp/tokyo/access/

Access

交通のご案内

■お車でお越しになる場合
東京駅から4km（平常時 約10分）。羽田空港から首都高速芝公園ランプ経由16km（平常時 約15分）。
東京シティエアターミナル（箱崎）から平常時 約15分。

■電車でお越しになる場合
JR線・東京モノレール浜松町駅から徒歩10分。
都営地下鉄三田線御成門駅（A1）から徒歩1分。
都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅（A6）から徒歩7分。
都営地下鉄大江戸線赤羽橋（赤羽橋口）から徒歩7分。
地下鉄日比谷線神谷町駅（3番）から徒歩10分。

2018年5月現在

◆2025 年度 IMONO MIRAI フォーラム in winter
講演会　次第（パネルディスカッション・事例紹介）

■２０周年記念スローガン
「持続可能な未来を我らの手で！鋳造の伝統と革新で拓く循環型社会」
―　我々が目指す未来のあり方と、そこに向かうための成長戦略　―

■進行表（13:30〜16:45）

時間	（分）	内容	進行・講演者
13:30–13:35	（5）	開会の挨拶	若手経営者委員会　委員長
13:35–14:50	（75）	パネルディスカッション ・我々が目指す未来像について （目的・働き方・工場・関係性・認知） ・必要な戦略とは？ （多角化・選択と集中・付加価値・技術・広報・連携・M&A 等）	ファシリテーター 太洋マシナリー㈱ 代表取締役社長　渡辺兼三 氏 パネラー ㈱武村鋳造所 代表取締役社長　武村浩道 氏 ㈱シオノ鋳工 代表取締役　塩野浩士 氏 前橋橋本合金㈱ 代表取締役社長　橋本浩伸 氏
14:50–15:05	（15）	休憩	
15:05–15:25	（20）	事例紹介① 仮題（成長戦略としての積極的 M&A 事例）	ハシダ技研工業㈱ 代表取締役社長　吉岡亨浩 氏
15:25–15:45	（20）	事例紹介② （承継から挑戦へ M&A・PMI で未来を拓く）	新栄ホールディングス㈱ 代表取締役社長　中村新一 氏
15:45–16:05	（20）	事例紹介③ 仮題（鋳物屋による M&A 事例）	㈱ミヤタ 代表取締役社長　松尾精三 氏
16:05–16:40	（35）	本日の総括・質疑応答	ファシリテーター
16:40–16:45	（5）	閉会の挨拶	若手経営者委員会　副委員長

IMONO MIRAI フォーラム　パネルディスカッション
ファシリテーター・パネラー紹介

	登壇者紹介		会社概要
ファシリテーター	太洋マシナリー(株) 代表取締役社長 渡辺兼三　氏 	1975 年、大阪府箕面市出身。近畿大学金属工学科卒(2 研)、前職で集塵機メーカーにて勤務、大手自動車メーカー向けに集塵機・空気輸送装置の設計・施工の業務に従事、安全対策や施工管理について学ぶ。太洋マシナリー㈱に入社後は、設計、総務、調達、営業とほぼすべての部署を経験、2015 年より現職。2022 年「鋳物砂の LoI(強熱減量)監視装置と砂再生システムの開発」で第 38 回素形材産業技術賞中小企業庁長官賞を受賞。【明るく楽しく元気よく】をモットーに日々精進中。現在の趣味はプランター菜園と子育て。	太洋マシナリー㈱は、鋳造用機械設備の設計・製造・販売を行う専門メーカーとして、長年にわたり産業界の発展に貢献。振動技術と砂処理技術を核とし、鋳造工程の効率化・品質向上を実現する幅広い装置を提供しています。現場に寄り添う開発姿勢と高いカスタマイズ力を強みに、顧客の課題に真摯に向き合う企業文化を育んできました。さらに、3S 活動と「おせっかいとよかれと思って行動する文化」を全社員で実践し、改善と挑戦を続けることで、持続的に価値を創造し続けるメーカーを目指している。
パネラー	(株)シオノ鋳工 代表取締役社長 塩野浩士　氏 	1975 年、京都・与謝野町に 7 代目候補として生まれる。1996 年に舞鶴高専を卒業後、オーストラリア・シドニーへ 1 年間留学。1997 年に帰国し㈱シオノ鋳工へ入社すると、入社直後から新工場建設プロジェクトを任され、2000 年に与謝野金屋での新工場竣工を実現。同年取締役工場長、2004 年には専務取締役として現場と経営の双方に深く関わる中で、「人が成長し幸せになる会社づくり」という自身の経営観を確立する。2012 年に代表取締役へ就任後は経営理念を策定し、“100 年後も成幸であり続ける”を掲げ、組織づくりや生産体制の強化を推進。2016 年から(一社)日本鋳造協会若手経営者委員会に所属し、業界発展にも力を注いでいる。	㈱シオノ鋳工は、1830 年に初代・塩野庄吉が鍋釜を製造する鋳物屋として創業、1930 年に産業用鋳物部品の製造へ転換。現在はフラン樹脂を用いた自硬性鋳型による手込め鋳造で月産約 200t を生産し、繊維機械やポンプ、エレベーター部品などの産業機械向け鋳物を手掛け、特に 200kg 前後の複雑形状量産品を得意としています。36 名（うち 6 名はベトナム実習生）が品質を支え、2023 年に竣工した新工場「ZIPSQUARE」では機械加工設備を導入。鋳造から加工までの一貫体制を整え、カフェや鋳物体験施設も併設し、地域に開かれた新しいものづくり拠点としての役割も果たしている。
	(株)武村鋳造所 代表取締役社長 武村浩道　氏 	1976 年、静岡県焼津市出身、24 歳で㈱武村鋳造所に入社し、36 歳で 4 代目社長に就任する。社長就任後は、会社経営だけでなく、東海鋳造技士会や静岡県鋳物協同組合若手会の運営に携わり、鋳造業界の発展に尽力している。2020 年からは同業他社の従業員向けに「あなたの給料を上げるための勉強会」を企画・開催し、人材育成にも注力。近年はローカルメディアにも出演し、自社および鋳造業の認知向上にも努め、豊富な経験と地域密着の視点を生かし、会社と業界の未来を切り拓くリーダーとして活躍している。	㈱武村鋳造所は、静岡県焼津市で明治 43 年に創業し、115 年以上にわたり鋳物製造を手掛けてきた日本の伝統的鋳物メーカー。手込自硬性による銑鉄鋳物の鋳造を中心に、船舶内燃機、コンプレッサー、ポンプなど幅広い業種向けの小ロット単品から、手のひらサイズ～2 トンまでの大型製品まで対応しています。生産管理システムを活用し、経理・生産・品質情報を一元管理することで、安定した品質と効率的な生産体制を実現。入社時 20 名から現在 40 名へと着実に成長を続け、地域に根ざした「ザ・日本の鋳物屋」として、長年の経験と技術力で信頼ある製品を提供している。
	前橋橋本合金(株) 代表取締役社長 橋本浩伸　氏 	1984 年、岡山県津山市出身、関西の芸術大学を卒業後、友人とともにデザイン会社を起業。その後、デザイン会社を友人に託し、2016 年に前橋橋本合金株式会社に入社。入社後、自社 WEB サイトのリニューアルを以前の会社に依頼し、自身もクリエイティブディレクターとして参画する。2024 年に娘婿として 4 代目社長に就任。最近では生成 AI を活用し、プログラミングの専門知識がなくとも「新旧図の差分比較ソフト」を開発。「温故知新」をモットーに、100 年にわたり蓄積された知見や技術を大切にしつつ、新しい技術も積極的に取り入れている。	前橋橋本合金㈱は、1918 年に京都で神仏具・工芸品製造として創業し、現在は群馬県と鹿児島県を拠点に、アルミ・マグネシウム鋳物の製造を手掛けています。フラン自硬性プロセスによる砂型鋳造や金型重力鋳造で少量多品種の鋳物に対応し、設計から鋳造・加工・検査までを一貫して行う体制を整えている。鋳造シミュレーションや 3D データの活用など、デジタル技術と熟練者の経験を融合した“デジタル×100 年の経験”のものづくりを推進。パイプ鋳込み技術や高気密大型鋳物を得意とし、高品質な製品を半導体関連・エネルギー関連分野に供給している。

IMONO MIRAI フォーラム　M&A 事例紹介

講師		会社概要
ハシダ技研工業㈱ 代表取締役社長 吉岡亨浩 氏 	1983 年生まれ、2002 年入社、2017 年社長就任。製造現場の実務経験を基盤に、金属加工、品質管理、組織マネジメントまで幅広い分野を経験し。「人をつくり、技を売る」を信条に掲げ、社員の成長を企業発展の源と捉え、若手が挑戦し続けられる環境づくりに力を注いでいる。 また、同社独自の教育制度「ハシダ塾」を通じ人材育成を体系化。技術だけでなく、考え方・責任感・リーダーシップを備えた次世代の人材の育成に取り組んでいる。近年は M&A にも積極的に関わり、多様な企業文化の融合と持続的成長を両立する仕組み作りに取り組んでいる。講師としては「現場力を活かす組織づくり」「ものづくり企業の成長戦略」「中小企業の M&A 活用」をテーマに、実体験に基づく具体的な学びを提供している。	1967 年の創業以来、金属加工技術を基盤に事業領域を広げ、現在では火力発電・航空・建機・農機・自動車、医療機器、電子機器、半導体関連部品など、多岐にわたる製品を手がける総合メーカーへと発展してきました。30 を超える工場と関連会社を有し、精密加工から組立・検査・塗装まで一貫生産体制を構築、多様な顧客ニーズに応えていることが特徴です。また、ガスタービンや航空機、医療機器など高度な品質が求められる分野においては、ISO9001、JIS Q 9100、ISO13485 などの国際規格に基づく品質管理を徹底し、「人をつくり、技を売る」という社是のもと、人材育成と技術革新を両輪とした経営を展開し、M&A を通じて国内製造業の技術と雇用を守りながら、持続的に価値を創造し続ける企業として歩みを進めています。
新栄ホールディングス㈱ 代表取締役 中村新一 氏 	1975 年生まれ、幼少期から製造業に親しみ、父親が創業した㈱新栄工業 に 2005 年に入社。2014 年には代表取締役社長に就任し、自らの手で社の舵を取り始める。以降、自社による金型内製化に取り組むとともに、2020 年以降は戦略的な M&A を通じてアポロ工業㈱や飯能精密工業㈱をグループ傘下に収め、2023 年にはグループ持株会社である㈱新栄ホールディングス を設立。これにより企業規模を大きく拡大し、従業員に安定した雇用と技術継承の場を提供している。「日本の中小製造業を次世代につなぐ"共助"のプラットフォームを築く」ことを使命とし、金型・金属プレス加工の分野で高付加価値経営と長期的な成長を目指している。	㈱新栄ホールディングスは、モノづくりへの飽くなき挑戦”を掲げる持株会社で、グループ傘下の複数の製造系企業を統括しながら、日本のものづくりの未来を支える存在です。グループの柱となるのは、金属プレスや金型製作を担う子会社、EV や自動車部品を手がけるメーカー、医療系を含む精密部品製造・組立を行う企業など。これらの 3 社の強みを融合することで、単独企業では困難な複雑なものづくりにも対応可能です。中小企業が抱える後継者不足や経営資源の偏りといった課題に対し、ホールディングスとして安定受注基盤と連携体制を整備。技術継承と経営の安定化を両立しながら、より高い付加価値と社会貢献を目指している。
㈱ミヤタ 代表取締役社長 松尾精三 氏 	1978 年生まれ、2013 年の社長就任後は品質・環境体制を強化。多品種・小ロットにも応える柔軟な生産体制を築き、顧客との信頼を深めてきた。2015 年の GIFA 展への参加を契機に業界活動にも積極的に取り組み、2018 年からは(一社)日本鋳造協会の若手経営者委員会に所属。講演会や工場見学、全国の仲間との交流から多くの刺激を受け、自社の経営改善にも反映させている。また、近年は機械加工会社の M&A を進め、鋳造から加工までの一貫体制を構築。地域と社員、そして業界全体がともに発展する未来を見据え、前向きな姿勢で鋳造産業の価値向上に尽力している。	㈱ミヤタは、1938 年（昭和 13 年）に創業された老舗の鋳物メーカーで、現在は福島県西白河郡泉崎村の工場に拠点を置く専門企業です。FC（普通鋳鉄）鋳物を主要製品とし、自動車部品、家電、産業機械、建設機械、農業機械、油圧機器など多岐にわたる分野向けの鋳物部品を製造。金型設計から溶解、造型、注湯、仕上げ、検査・梱包に至るまで一貫生産を行うライン体制を整え、大ロットから小ロットまで柔軟に対応可能です。最新の自動造型機や鋳造技術により高い生産性と品質を実現。また、ISO 9001／ISO 14001 の認証を取得し、品質管理と環境保全の両立にも力を入れています。約 43,000 ㎡の敷地と 5,500 ㎡の建物を有し、月産 1,200 トン規模の鋳造能力を誇る実力ある企業です。

一般社団法人日本鋳造協会　総務グループ 行
e-mail：　soumu@foundry.jp
1月15日（木）までにお申込みください

創立20周年記念式典・祝賀会・IMONO MIRAIフォーラム 参加申込書

会社名（組合名）		連絡者名		連絡者 所属・役職	
TEL		請求書発行について	1．希望する 2．希望しない		
「希望する」場合	1.PDF※ 2.郵便	郵送希望の場合の住所	〒		

※PDFでの請求書発行につきましては、既に電子送付先をご登録をいただいている会員様限定となります。
送付先もご登録のメールアドレス宛となり、個別対応はいたしかねますのでご了承ください。

恐れ入りますが、連絡者と参加者が同じ場合も以下ご記入ください。

A．1月29日（木）13:30～16:45　IMONO MIRAIフォーラム

	参加者氏名	所属・役職名
①		
②		
③		

B．1月29日（木）17:00～17:30　創立20周年記念式典

	参加者氏名	所属・役職名
①		
②		
③		

C．1月29日（木）17:45～19:15　祝賀会（兼 新年賀詞交換会）

	参加者氏名	所属・役職名
①		
②		
③		

【備考】４名以上ご参加の場合は、本シートならびに追加用シートに社名、参加者の氏名、所属（のみ）を記載の上、ご提出ください。

参加者 計	名	参加費合計（自動計算）	0	円	**¥20,000 /1名**
		振込予定日			

参加費は、お手数をお掛けいたしますが、**1月20日（火）**までに、下記銀行口座にお振り込み下さい。
また、振込料手数料は貴社にてご負担願います。

みずほ銀行　神谷町支店　普通預金　№1000022　一般社団法人日本鋳造協会